

同時記者発表：サンポート合庁記者クラブ
徳島県政記者クラブ

徳島海陽沖GPS波浪観測灯浮標（ブイ） 流失による観測停止について

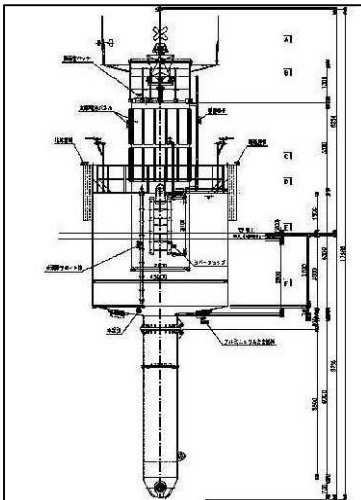
●3月2日（土）午前3:54頃、四国地方整備局が徳島県海陽町沖約20kmに設置している「徳島海陽沖GPS波浪観測灯浮標（ブイ）」が流失し、観測が停止しています。

●流出したブイは、3日（日）午後2:40 タグボートにより設置場所から東南東へ約25kmにて回収し、4日（月）午前中時点で、竹ヶ島沖約10kmの海域で係留索の状況を調査中です。

●流出した原因を早急に究明し、必要に応じて再発防止策を講じながら早期の復旧と観測の再開を図ります。

（参考）「徳島海陽沖GPS波浪観測装置」について

港湾整備に必要な波浪データを取得する目的で平成22年1月に設置しました。



ーGPS波浪計測灯浮標 諸元ー
ブイ全高：約18m（喫水線+8m）
設置水深：約430m
係留索：
全長674m
上部チェーン部：19m
ケーブル部：361m
下部チェーン部：294m
アンカー重量（空中）：16t



ーブイ曳航現況（3日（日）15:00時点）ー

ーブイ設置位置、回収場所及び曳航・仮置場所ー

記者発表日 平成25年3月4日（月）

○問い合わせ先

国土交通省	四国地方整備局	港湾空港部	電話番号	(087) 811-8334 (直通)
(担当)	海洋環境・技術課	課長	小松 浩二 (内線 6571)	
		課長補佐	高木 耕造 (内線 6572)	